

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策1 子どもを生み育てやすい環境の整備							
妊娠届出時の保健師面接率	1	妊娠届出時に保健師と面接している割合を測ることで、必要な情報や相談先の提供、早期の相談が図られているかを見る指標	独自調査			増加	妊娠届出時に、保健師による面接を実施した数が約〇%増加することを目標として設定しました。
産婦健康診査の受診率	1	産婦健康診査の受診率を測ることで、産後うつや新生児虐待予防などが図られているかを見る指標	独自調査			増加	産婦健康診査の受診率が %増加することを目標として設定しました。
子育て広場の利用者数	2	子育て広場の利用者数を測ることで、親子が気軽に相談や情報交換することができる場の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	子育て広場事業を実施するこどもセンターの増加を加味し、令和〇年度までは増加とし、それ以降については、対象者が減少することを踏まえ、その水準を維持することとして目標を設定しました。
保育所等利用待機児童数	2	保育所等における利用待機児童数を測ることで、子育て支援の充実が図られているかを見る指標	独自調査			減少	毎年4月1日時点の保育所等利用待機児童が解消されることを目標として設定しました。
療育相談、発達障害相談者数	3	障害のある子どもやその家族が身近な地域で安心して生活できる環境づくりが図られているかを見る指標	独自調査			増加	直近の実績値を基に近年(過去5年程度)のトレンド及び65歳未満人口の増減率を乗じ、〇人増加することを目標として設定しました。
施策2 子ども・若者の育成支援							
児童クラブの確保提供量 (児童クラブにおいて受け入れることができる児童数)	1	児童クラブの確保提供量を測ることで、児童クラブへのニーズに対応が図られているかを見る指標	独自調査			増加	児童クラブの確保提供量が増加することを目標として設定しました。
児童館及びこどもセンターの利用者数	1	児童館及びこどもセンターの利用者数を測ることで、放課後の子どもの居場所づくりが図られているかを見る指標	独自調査			増加	児童館及びこどもセンターの利用者数が毎年〇人増加することを目標として設定しました。
里親の登録者数	2	里親の登録者数を測ることで、困難を有する子ども・若者の支援の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	里親登録者数が、毎年〇%増加することを目標として設定しました。
安全確認実施率 (虐待相談後、48時間以内に子どもの安全確認を行った割合)	2	虐待相談後、48時間以内に子どもの安全確認を行った割合を測ることで、児童虐待の早期発見・早期対応が図られているかを見る指標	独自調査			維持	市民や関係機関などから、虐待相談を受け、48時間以内に、対象となる子どもの状況を直接目視で確認をした実施率を〇%で維持することを目標として設定しました。
施策3 幼児教育・学校教育の推進							
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	1	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合を測ることで、未来への前向きな気持ちや自分らしい生き方を実現しようとする意欲が育っているかを見る指標	独自調査			増加	児童生徒アンケートにおいて、「将来の夢や目標を持っている」について「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した人の割合を %以上とすることを目標に設定しました。
基礎学力の定着度 (学習調査において目標値を達成する児童の割合)	1.3	児童の基礎学力の定着度を測ることで、子どもが直面する課題解決のために必要な知識・技能が習得できているかなどを見る指標	独自調査			増加	市立の小学校5年生の児童を対象として毎年実施している学習調査において、目標値を達成する児童の割合が %増加することを目標として設定しました。
多様性を尊重できる児童生徒の割合 (人の得意なことや苦手なことを、「その人らしさ」として認めることができる児童生徒の割合)	2	子どもの多様性を尊重する心の育成が図られているかを見る指標	独自調査			増加	児童生徒アンケートにおいて、「人の得意なことや苦手なことを、「その人らしさ」として認めることができる」について「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した人の割合を %以上とすることを目標に設定しました。
施策4 家庭や地域における教育力の向上							
地域で子どもに関わる活動をしたことがある市民の割合	1	地域で子どもに関わる活動をしたことがある市民の割合を測ることで、地域全体で子どもの成長を支える取組が進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「したことがある」と回答した人が毎年 %増加することを目標として設定しました。
「家庭教育支援事業」の参加人数	2	「家庭教育支援事業」の参加人数を測ることで、家庭教育に関する学習機会の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	家庭教育啓発事業の参加者数が毎年〇人増加することを目標として設定しました。
施策5 生涯学習・社会教育の振興							
学習機会があると思う市民の割合	1	学習機会があると思っている市民の割合を測ることで、生涯にわたって学ぶ機会が提供できているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
学習成果を生かしている市民の割合	1、2	学習成果を生かしている市民の割合を測ることで、学んだことを生かすことができる学習機会の充実が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「している」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
公民館をはじめとした社会教育事業の運営に新たに携わった市民の人数(累計数)	2	社会教育事業の運営に新たに携わった市民の人数を測ることで、地域づくりを担う人材の育成・充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	社会教育事業の運営に新たに携わった市民の人数が 人増加することを目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策6 地域福祉の推進							
福祉コミュニティづくりの推進度 (地域で互いに助け合い・支え合いができていていると思う市民の割合)	1	地域全体で支え合う福祉コミュニティづくりが進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人が %増加することを目標として設定しました。
福祉ボランティアの活動件数	1	福祉への理解と意識の向上が図られているかを見る指標	独自調査			増加	過去5年間の実績を基に、〇%増加することを目標として設定しました。
バリアフリー化の満足度 (道路・公園・駅などのバリアフリー化に満足している市民の割合)	2	誰もが快適な日常生活を送ることができる福祉のまちづくりに向けた取組が進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答した人が〇%増加することを目標として設定しました。
施策7 生活に困窮する人の自立支援							
就労支援の決定率 (生活困窮者自立支援相談窓口で相談を受けた者のうち、就労支援が決定した割合)	1	相談者のニーズ等に応じた自立支援が図られているかを見る指標	独自調査			増加	就労支援が決定した者の割合について、過去の実績を勘案し目標を設定しました。
就労支援事業の参加率 (就労支援事業の対象となる生活保護制度利用者のうち、就労支援事業に参加した割合)	2	生活保護制度利用者のニーズ等に応じた自立支援が図られているかを見る指標	独自調査			増加	就労支援対象者のうち就労支援事業に参加した者の割合について、過去の実績値を基に目標を設定しました。
施策8 地域包括ケアシステムの充実と高齢者の社会参加の推進							
要支援・要介護認定の新規申請者の平均年齢	1	介護予防の取組が図られているかを見る指標	独自調査			増加	要支援・要介護認定の新規申請者の平均年齢が歳上昇することを目標として設定しました。
相談相手がいる高齢者の割合 (家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手がいる高齢者の割合)	1	高齢者等を見守り、支える地域づくりを推進されているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「相手がいる」を選んだ人が〇%増加することを目標として設定しました。
認知症サポーターの養成数	1.2	認知症の人とその家族にやさしい地域づくりが推進されているかを見る指標	独自調査			増加	地域における認知症の人の応援者である認知症サポーターの養成数が段階的に国の設定している総人口〇%まで増加すること目標として設定しました。
介護人材の充足率	1.3	高齢者が安心して介護サービスを受けることができる基盤の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	特別養護老人ホームなどにおける介護人材の充足率が %増加することを目標として設定しました。
生きがいがあると感じている高齢者の割合	1.4	高齢者の社会参加や生きがいづくりに向けた取組の推進が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人が〇%増加することを目標として設定しました。
施策9 障害者の地域生活の支援と社会参加の促進							
障害者差別解消法の認知度 (障害者差別解消法を知っている人の割合)	1	障害等に関する理解促進に向けた普及啓発が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「知っている」と回答した人が〇%増加することを目標として設定しました。
共同生活援助(グループホーム)の利用人数	2	障害のある人の地域生活の拠点となる共同生活援助(グループホーム)の利用人数を測ることで、安全で安心して地域生活を送るための取組が進んでいるかを見る指標	独自調査			増加	障害のある人が地域生活を送るために利用する共同生活援助(グループホーム)の利用人数(毎年度3月の利用実績)が、増加することを目標として設定しました。
福祉研修センターの実施する研修を受講した障害福祉サービス事業所等従事者数	3	研修などを通じた人材の育成などにより、質の高い福祉サービスの提供が図られているかを見る指標	独自調査			増加	多様な障害特性に応じた支援などに関する研修を受講した障害福祉サービス事業所等従事者数が〇人増加することを目標として設定しました。
療育相談、発達障害相談者数(施策1の再掲)	4	障害のある子どもやその家族が身近な地域で安心して生活できる環境づくりが図られているかを見る指標	独自調査			増加	直近の実績値を基に近年(過去5年程度)のトレンド及び65歳未満人口の増減率を乗じ、〇人増加することを目標として設定しました。
一般就労への移行人数 (障害福祉サービス事業所で就労訓練を受け、一般就労に結びついた人数)	5	一般就労に結びついた人数を測ることで、就労環境の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	国の基本指針に示されている割合に基づき、障害福祉サービス事業所で就労訓練を受け、一般就労に結びついた人を〇人増加することを目標として設定しました。
施策10 健康づくりの推進							
主観的健康観 (自分が健康であると感じている人の割合)	1	市民一人ひとりが生涯にわたって健康でいきいきと暮らすための取組が進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
健康のために取り組んでいることがある市民の割合	1	市民の健康づくりへの意識が向上し、積極的に健康の増進が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「している」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
健康診断の受診率 (1年間に健康診断を受けた人の割合)	1	市民の健康づくりへの意識が向上し、積極的に健康の増進が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、1年間に健康診断を受けた人の割合が〇%増加することを目標として設定しました。
ゲートキーパーの養成数	2	自殺のサインに気づき、適切な対応を図ることのできるゲートキーパーの養成数を測ることで、自殺総合対策が推進されているかを見る指標	独自調査			増加	自殺のサインに気づき、適切な対応を図ることのできるゲートキーパーを〇%増やすことを目標として設定しました。
精神疾患や心の健康に関する窓口の認知度 (精神疾患や心の健康に関して市に相談の窓口があることを知っている市民の割合)	2	心の健康づくりに対する支援が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「知っている」と回答する人の割合が〇%増加することを目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策11 医療体制の充実							
かかりつけ医の普及率 (かかりつけ医などを持っている市民の割合)	1.2	地域医療を支える人材の確保や在宅医療への支援の充実が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「いる」と回答した人が〇%増加することを目標として設定しました。
救急隊員からの収容依頼3回以内で受け入れられた救急搬送者の割合	2	救急医療体制の確保が図られているかを見る指標	独自調査			増加	過去実績を基準として、救急隊員からの収容依頼3回以内で受け入れられた搬送者が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策12 多文化共生の推進と世界平和の尊重							
多文化共生に取り組んだ市民の割合	1.2	国籍を問わず誰もが暮らしやすいまちづくりが進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「取り組みは行っていない」と回答した人以外が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合	3	平和意識の普及啓発により、世界平和に貢献する活動が進んでいるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「取り組みは行っていない」と回答した人以外が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策13 人権の尊重と男女共同参画の推進							
市民の人権に対する意識 (人権が尊重されていると思う市民の割合)	1.2	市民の人権意識を測ることで、人権尊重のまちづくりが図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケートにおいて、「そう思う」と回答した人の合計が、毎年〇%増加することを目標として設定しました。
性別による固定的な役割分担意識 (「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する市民の割合)	2	性別による固定的な役割分担意識を測ることで、男女共同参画が推進されているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケートにおいて、「そう思わない」と回答した人の合計が、毎年〇%増加することを目標として設定しました。
市の審議会等における女性委員の割合	2	女性の活躍推進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	市審議会等における女性委員の割合が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策14 災害対策の推進							
住宅の耐震化率	1	住宅の耐震化率を測ることで、地震に対する対策が推進されているかを見る指標	独自調査			増加	過去実績の伸び率を参考とし、〇%増加することを目標として設定しました。
河川改修延長	1	河川改修延長を測ることで、水害対策が推進されているかを見る指標	独自調査			増加	市管理河川の改修予定延長を加味し目標として設定しました。
防災意識の向上度 (災害対策をしている市民の割合)	2	市民の自助の取組状況を測ることで、防災意識の向上をみる指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「している」と回答した市民の割合が年〇%増加することを目標として設定しました。
避難情報の認知度 (市が発令する避難勧告などの緊急情報を取得できる市民の割合)	2	市が発令する避難情報(避難勧告など)取得方法の認知度を測ることで、避難情報が市民に的確に伝わるかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「手段がない」と回答した人以外が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策15 消防力の強化							
応急手当実施率 (救急現場に居合わせた市民が応急手当を実施した割合)	1.4	救急現場に居合わせた市民が応急手当を実施した割合を測ることで、市民による応急手当の普及状況を見る指標	独自調査			増加	市民の応急手当実施率について、年〇%増加することを目標として設定しました。
火災による損害額	1.2.3.4	火災による損害額を測ることで、消防力が強化されているかを見る指標	独自調査			維持	火災による被害を増大させないことを目的に、損害額が過去5年で最も大きい平成29年の400,673千円を超えないことを目標として設定しました。
火災件数	3	火災件数を測ることで、火災予防対策が推進しているかを見る指標	独自調査			維持	火災による被害を増大させないことを目的に、放火火災をはじめとした火災件数が過去5年平均の160件を超えないことを目標として設定しました。
施策16 保健衛生体制の充実							
結核罹患率 人口10万人あたりの新規結核患者数	1	感染症の予防・まん延防止対策が測られているかを見る指標	独自調査			維持	「結核に関する特定感染症予防指針」(厚生労働省)で掲げる、結核罹患率(人口10万人あたりの新規結核患者数)の目標値から、結核罹患率10以下を維持することを目標として設定しました。
食品関係事業者などに対して実施する食品衛生に関する講習会の理解度	2	食品衛生に関する講習会の理解度を測ることで、食の安全と安心の確保が図られているかを見る指標	独自調査			維持	食品衛生責任者講習会などにおいて行うアンケートにおいて、講習会内容を「理解出来た」又は「概ね理解出来た」と回答した人の割合を〇%以上にすることを目標として設定しました。
ペットに対する防災対策の実施率 (ペットに対する防災対策を講じている飼い主の割合)	3	動物愛護精神の「かん養と適正飼養」の普及啓発が図られているかを見る指標	独自調査			増加	動物愛護普及行事などで行うアンケートにおいて「飼っているペットの防災対策を講じている」と答えた割合を毎年 %増加することを目標として設定しました。
浴槽水等検査により不適になった件数に対して改善を確認した件数の割合	3	生活衛生関係営業施設への定期的な監視・指導により、衛生的な生活環境の確保が図られているかを見る指標	独自調査			維持	不適件数に対する改善確認数を100%で維持することを目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策17 防犯や交通安全・消費者保護対策の推進							
地域防犯力の満足度 (住んでいる地域の防犯力が高いと感じている市民の割合)	1	市民の地域防犯力の満足度について測ることで、地域防犯力を見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「そう思う」と回答した人の割合が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
市内での高齢者の交通事故件数	2	交通事故の割合の高い高齢者の交通事故件数を測ることで、交通安全対策が推進されているのを見る指標	独自調査			減少	市内の高齢者の交通事故件数を毎年〇%減少することを目標として設定しました。
市内での自転車事故件数	2	交通事故の割合の高い自転車の交通事故件数を測ることで、交通安全対策が推進されているのを見る指標	独自調査			減少	市内の自転車事故件数を毎年〇%減少することを目標として設定しました。
消費生活に係る出前講座の満足度 (消費生活に係る出前講座のアンケートにおいて「役に立った」を選択した市民の割合)	3	消費生活に係る出前講座の満足度を測ることで、自立した消費者の育成が図られているのを見る指標	独自調査			増加	自立した消費者の育成や消費者被害の未然防止を目的とした出前講座のアンケート調査において、「役に立った」と回答した人の割合が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
消費生活センターの認知度 (消費生活センターを知っている市民の割合)	3	消費者被害に関する相談窓口である消費生活センターの市民の認知度を測ることで、消費者保護が図られているのを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「知っている」と回答した人の割合が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策18 暮らしやすい住環境の形成							
高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合	1	高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合を測ることで、高齢者が安心して暮らせる高齢者向け住宅の供給が進んでいるのを見る指標	独自調査			増加	国の住生活基本計画における目標値を参考に、〇%を目標として設定しました。
新築住宅における長期優良住宅の認定戸数	2	新築住宅における長期優良住宅の認定戸数を測ることで、長期にわたり良好な状態で使用することができる良質な住宅ストックが形成されているのを見る指標	独自調査			増加	「長期優良住宅の普及に関する法律」に基づき、建物の耐震性、バリアフリー性、省エネルギー性の性能を有する認定を受けた良質な新築住宅等の供給に向けて、認定制度施行時からの認定件数の推移を参考とし、〇戸を目標として設定しました。
居住環境に対する満足度 (良好な居住環境が保たれていると思う市民の割合)	1.3	居住環境に対する満足度を測ることで、良好な居住環境が形成されているのを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査で「そう思う」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
適切な管理が行われていない空家等の解決率	2	空家等の適正管理が図られているのを見る指標	独自調査			維持	市が通報を受け、現地調査を行い、対応することとした空家等の解決率を、維持することを目標として設定しました。
施策19 魅力的な景観の形成							
市街地の景観に満足している市民の割合	1	市街地の景観に対する満足度を測ることで、地域の魅力を高める景観づくりが進んでいるのを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「満足」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
自然景観に満足している市民の割合	1	自然景観に対する満足度を測ることで、地域の魅力を高める景観づくりが進んでいるのを見る指標	市民アンケート			維持	市民アンケート調査において、「満足」と回答した人が〇%であることからこの水準を維持することを目標として設定しました。
道路沿いの緑化(接道緑化)の長さ	1.2	接道緑化の長さを測ることで、身近な緑の創出が図られているのを見る指標	独自調査			増加	過去の実績を加味し、m増加させることを目標として設定しました。
施策20 都市機能の維持・充実と計画的な土地利用の推進							
都市と自然が調和した良好なまちが形成されていると感じる市民の割合	1.2.3	都市と自然が調和した良好なまちが形成されているかを測ることで、適切な土地利用がなされているのを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答した人が〇%増加することを目標として設定しました。
まちなかの人口密度 (都市の拠点周辺や、公共交通の沿線など居住エリアにおける人口密度)	1	まちなかにおける人口密度を測ることで、集約連携型のまちが形成されているのを見る指標	独自調査			維持	集約連携型の目指すべき都市構造の実現に資するため、立地適正化計画における居住誘導区域の人口密度を維持することを目標として設定しました。
自然的な土地利用の面積 (水源地域の自然環境や、市街地のみどりなどの自然的な土地利用を図るべき地域の面積)	2	自然的な土地利用の面積を測ることで、水源地域の自然環境や市街地のみどりなどが保全されているのを見る指標	独自調査			維持	自然環境の保全・活用に資する将来都市構造の実現を目指すため、自然的土地利用が図られている地域の現状値を維持していくことを目標として設定しました。
施策21 広域交通ネットワークの形成							
主要交差点間の移動時間 主要交差点間 ・南橋本1丁目交差点～多摩境駅前交差点 ・清新交差点～小山長池トンネル南 ・鶴野森交差点～下当麻交差点	2	主要交差点間の移動時間を測ることで、自動車需要への対応やアクセス性を高める道路ネットワークの形成が進んでいるのを見る指標	独自調査			短縮	市内外の主要交差点間の移動時間について、今後の道路整備による移動短縮時間を想定し、目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策22 安心して移動できる地域交通の形成							
公共交通のカバー率 (公共交通圏域(駅から1km、バス停留所から300m)に住む人口の割合)	1	公共交通のカバー率を測ることで、公共交通ネットワークの形成が図られているかを見る指標	独自調査			増加	過去実績の伸び率を参考とし、〇%増加することを目標として設定しました。
市民や来訪者などの公共交通利用者の割合	2	公共交通の利便性の向上や利用の促進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	過去実績の伸び率を参考とし、〇%増加することを目標として設定しました。
市内の幹線道路などの整備延長	3	整備延長を測ることで、地域の道路環境が充実しているかを見る指標	独自調査			増加	市内幹線道路などの整備予定延長を目標値として設定しました。
自転車道などの整備延長	4	整備延長を測ることで、自転車利用環境が充実しているかを見る指標	独自調査			増加	自転車道、自転車レーンなどの整備予定延長を加味し目標として設定しました。
放置自転車などの台数 (道路上に停められている放置自転車などの一日当たりの台数)	4	放置自転車などの台数を測ることで、自転車利用環境が充実しているかを見る指標	独自調査			減少	放置禁止区域内の放置自転車などの台数を、令和元年度の実績値173台を基準に75%減少させることを目標として設定しました。
施策23 首都圏南西部における広域交流拠点の形成							
		指標なし	0			0	0
施策24 市街地整備の推進と拠点の形成・活性化							
		指標なし	0			0	0
施策25 国際的なビジネス拠点の形成と新たな社会経済の仕組みの構築							
市内企業の製造品出荷額	1.2.3	市内企業の製造品出荷額を測ることで、地域経済を支える強固な産業基盤の形成が図られているかを見る指標	工業統計調査 又は経済センサス			維持	今後の経済情勢は下落傾向が見込まれるものの、産業振興策を進めることにより、基準値の数値を維持していくことを目標として設定しました。
市内企業の海外との人材のネットワーク形成支援による雇用創出数	4	市内企業が海外との繋がりを形成することによる雇用創出数を測ることで、中小企業のグローバル展開の支援が図られているかを見る指標	独自調査			増加	企業の安定した雇用の確保に資するため、平成30年度を基準として、毎年〇人増加することを目標として設定しました。
施策26 誰もが働きやすい環境の整備							
仕事と家庭両立支援推進企業表彰の応募企業数	1	仕事と家庭両立支援推進企業表彰の応募企業数を測ることで、働きやすい環境づくりの推進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	表彰に応募する企業は、ワーク・ライフ・バランス推進への意識が高いと考え、平成30年度の実績値を基準として増加することを目標として設定しました。
市総合就職支援センター利用者の進路決定率	2	市総合就職支援センター利用者の進路決定率を測ることで、就労支援の充実が図られているかを見る指標	独自調査			増加	平成30年度の実績値を基準に毎年増加させることを目標として設定しました。
施策27 商業の振興							
本市及び周辺自治体における小売業年間販売額の合計に占める本市の割合	1.2	本市及び周辺自治体における小売業年間販売額の合計に占める本市の割合を測ることで、中心市街地の魅力向上が図られているかを見る指標	経済産業省『経済構造実態調査』			増加	本市における交通利便性の向上や中心市街地の活性化などの効果を見込み、周辺自治体を含む市民の主な生活圏において、本市の小売吸引力を高めることを目標として設定しました。
商店会が実施した活性化に係る事業数	1.2	商店会が実施した活性化に係る事業数を測ることで、商店街の活性化が図られているかを見る指標	独自調査			維持	商店会が取り組むにぎわいづくりや、商店街街路燈などの環境整備の取組を維持することを目標として設定しました。
施策28 観光交流都市さがみはらの形成							
観光意欲度 (相模原市に観光に行きたいと思う人の割合)	1.2.3.4	観光意欲度を測ることで、相模原市の観光における魅力の向上が図られているかを見る指標	地域ブランド研究所 地域ブランド調査			増加	相模原市に観光に行きたいと思う割合が、毎年〇%増加することを目標に設定しました。
入込観光客数 *イベントを除く	1.2.3.4	入込観光客数を測ることで、相模原市の観光における魅力の向上が図られているかを見る指標	神奈川県入込観光客数調査			増加	入込観光客数について、毎年〇人増加することを目標に設定しました。
施策29 持続可能な力強い農業の確立							
集積が行われた農地面積	1.2	集積が行われた農地面積を測ることで、農地の保全や経営の効率が図られているかを見る指標	独自調査			増加	耕作がされない農地が、新規就農者などに集積が行われることにより、農地の保全や経営の効率が図られることから、集積が行われた農地の面積が増加することを目標に設定しました。
野生鳥獣による農作物被害額	2	野生鳥獣による農作物被害額を測ることで、農地の保全・有効活用が図られているかを見る指標	神奈川県			減少	神奈川県が算出する市町村ごとの農業被害額を減少させることを目標に設定しました。
大型直売所来客数	3	大型直売所来客数を測ることで、地産地消の推進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	開店から現在までの過去の推移と、規模が近い他の直売所の来客数を踏まえ、〇人増加することを目標を設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策30 基地の早期返還の実現							
	指標なし	0	0			0	0
施策31 スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現							
スポーツを定期的(週1回以上)に行う市民の割合	1.2	スポーツを定期的に行う市民の割合を測ることで、市民のスポーツ活動に対する支援が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「している」と回答した人が、国が第2期スポーツ基本計画において目標としている数値である〇%とすることを目標を設定しました。
スポーツに関するボランティア活動を行った市民の割合(年1回以上)	2	スポーツに関するボランティア活動を行った市民の割合を測ることで、スポーツに関わる多様な人材・組織の育成や支援体制の構築が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「行った」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
市内で開催されるホームタウンチームの公式戦の観客数(年間延べ人数)	3	市内で開催されるホームタウンチームの公式戦の観客数を測ることで、スポーツを通じた交流の創出が図られているかを見る指標	独自調査			増加	市が主催・共催・後援するスポーツイベントへの来場者数が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策32 文化の振興と文化を通じた活力の創出							
文化・芸術への関心度 (文化・芸術に親しんでいる市民の割合)	1.2	文化・芸術への関心度を測ることで、文化振興が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において「機会がなかった」と回答した人を除いた数値が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
市が主催・共催・後援した文化・芸術事業の入込客数	1.2	文化・芸術事業の入込客数を測ることで、文化を通じたまちの賑わい作りが図られているかを見る指標	独自調査			増加	文化・芸術事業の入場者が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
文化財活用事業の満足度	3	文化財活用事業の満足度を測ることで、文化財に親しむ機会が図られているかを見る指標	独自調査			増加	文化財活用事業で実施するアンケート調査において、「文化財への理解が深まり満足した」と回答した人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
文化財活用事業へのボランティア参加者数	3	ボランティア参加者数を測ることで、地域全体で文化財の保存・活用が図られているかを見る指標	独自調査			増加	文化財活用事業のボランティア参加者数が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策33 温室効果ガスの削減と気候変動への適応							
市域の温室効果ガス排出量	1.2.3	市域の温室効果ガス排出量を測ることで、温室効果ガスの削減の取組が推進されているかを見る指標	独自調査			減少	国の温室効果ガス削減目標をもとに、本市におけるこれまでの削減実績(緩和策)や将来推計結果などを踏まえ目標を設定しました。
市が独自に取り組む施策によるCO2削減見込量	1.2.3	CO2削減見込量を測ることで、温室効果ガスの削減の取組が推進されているかを見る指標	独自調査			増加	国の温室効果ガス削減目標をもとに、本市におけるこれまでの削減実績(緩和策)や将来推計結果などを踏まえ目標を設定しました。
適応策の認知度 (気候変動に伴う影響に備えている市民の割合)	4	気候変動やその影響について理解し、市民の具体的な行動に繋がっていることを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「行っている」と回答した人が〇%増加させることを目標として設定しました。
施策34 環境を守る体制の充実							
環境学習講座の参加人数	1.2	環境学習講座の参加人数を測ることで、環境に対する意識の醸成が測られていることを見る指標	独自調査			増加	環境学習講座の参加する市民が、毎年〇人増加することを目標として設定しました。
環境意識の醸成度 (日常生活において、環境に配慮している市民の割合)	1.2	日常生活において、環境に配慮している市民の割合を測ることで、環境を守る担い手が育成されているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「している」と回答した人の割合を〇%増加させることを目標として設定しました。
施策35 循環型社会の形成							
ごみ総排出量	1	資源化可能物の分別とごみの発生・排出抑制による減量効果を見る指標	独自調査			減少	ごみの総排出量を〇%削減することを目標として設定しました。
市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源を除く。)	1	家庭におけるごみの削減効果を見る指標	独自調査			減少	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源を除く。)を〇g削減することを目標として設定しました。
食品ロス排出量	1.2	家庭から排出される食品ロス(食べ残しや手付かず食品)の削減効果を見る指標	独自調査			減少	食品ロス排出量を〇%削減することを目標として設定しました。
施策36 廃棄物の適正処理の推進							
清掃工場などのごみの適正処理率 (市内で発生するごみを清掃工場焼却及び最終処分場で埋立できる割合)	1	市内で発生するごみを適正に処理できる体制が構築されていることを見る指標	独自調査			維持	清掃工場焼却すべきごみの量及び最終処分場で埋立すべき焼却灰の量に対応できるよう施設を維持することが必要であるため、100%を目標として設定しました。
まち美化の維持率 (まちがきれいに保たれていると感じる市民の割合)	2	まちの美化が保たれているかを測ることで、ポイ捨てや不法投棄が防止されていることを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答する人の割合が約〇%増加することを目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策37 水源環境・森林環境の保全、再生、活用							
協力協約の整備面積 (市が森林所有者に補助を行っている森林の整備面積)	1	協力協約の整備面積を測ることで、森林の保全・再生が図られているかを見る指標	独自調査			維持	市が森林所有者に補助を行っている森林の整備面積を、維持していくことを目標として設定しました。
さがみはら津久井産材素材生産量	2	さがみはら津久井産材素材生産量を測ることで、林業の振興が図られているかを見る指標	神奈川県			増加	市内の森林から産出される木材の生産量を、増加することを目標として設定しました。
ダム集水区域の公共下水道整備率	3	ダム集水区域の公共下水道整備率を測ることで、生活排水の適正な処理が図られているかを見る指標	独自調査			増加	「第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ダム集水区域の公共下水道整備率が増加することを目標として設定しました。
施策38 野生鳥獣の適切な管理							
野生鳥獣による農作物被害額	1.2.3	野生鳥獣による農作物被害額を測ることで、野生鳥獣被害対策の実施が図られているかを見る指標	神奈川県			減少	神奈川県が算出する市町村ごとの農業被害額を減少させることを目標に設定しました。
ニホンジカ及びニホンザル、イノシシ捕獲実績	1.2.3	ニホンジカ及びニホンザル、イノシシ捕獲実績を測ることで、野生鳥獣生息頭数の適正管理が図られているかを見る指標	独自調査			維持	農業被害をもたらす鳥獣のうちニホンジカ、ニホンザル、イノシシの捕獲実績を維持していくことを目標として設定しました。
施策39 生物多様性の保全と活用							
モニタリング調査における調査対象生物種数	1	モニタリング調査における調査対象生物種数を測ることで、生物の生息・生育状況の把握と適切な保護・管理が図られているかを見る指標	独自調査			増加	特定のエリアにおける生物の生息・生育状況を継続的に記録し、より多くの生物情報の収集蓄積を行うことが重要であるため、対象生物種数を増加させていくことを目標として設定しました。
「生物多様性」という言葉を知っている市民の割合	2	「生物多様性」という言葉を知っている市民の割合を測ることで、生物多様性の浸透が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「知っている」市民の割合が増加していくことを目標として設定しました。
施策40 生活環境の保全							
大気環境基準を達成した地点の割合	1	大気環境基準を達成地点割合を測ることで、良好な生活環境の保全が図られているかを見る指標	独自調査			維持	全国的な状況を踏まえ、大気汚染に係る環境基準の達成した地点の割合を維持していくことを目標として設定しました。
水質環境基準を達成した地点の割合	1	水質環境基準を達成地点割合を測ることで、良好な生活環境の保全が図られているかを見る指標	独自調査			維持	全国的な状況を踏まえ、公共用水域(河川及び湖沼)の水質汚濁に係る環境基準を達成した地点の割合を維持していくことを目標として設定しました。
施策41 公園や身近な自然の適正な管理・利活用と都市緑化の推進							
(公財)相模原市まち・みどり公社の実施する都市緑化に関する活動への参加者数	1	都市緑化に関する活動への参加者数を測ることで、水やみどりの保全・創出の推進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	(公財)相模原市まち・みどり公社が実施する事業の参加者数を毎年〇人増加させることを目標として設定しました。
公園の満足度	2	公園の満足度を測ることで、魅力ある公園づくりの推進が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と答えた市民の割合を毎年〇%増加させることを目標として設定しました。
施策42 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進							
地域の活動への参加率 (地域活動・市民活動に参加している市民の割合)	1.2	地域活動・市民活動への理解が深まり、活動が促進されているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「していない」以外の回答をした人が毎年 %増加することを目標として設定しました。
市が多様な主体と協働により取り組んでいる事業などの数	1.3	市が協働で取り組んでいる事業数を測ることで、協働に対する意識の醸成と取組の推進が図られているかを見る指標	独自調査			増加	市が協働により取り組んでいる事業などの件数が毎年 件増加することを目標に設定しました。
市内のNPO法人数	1.2.3	NPO法人数を測ることで、地域の活性化や自主的な課題解決に向けた活動が促進されているかを見る指標	独自調査			増加	認証実績数などを踏まえ、市内に事務所を有するNPO法人が毎年 団体増加することを目標として設定しました。
施策43 区制を生かした魅力あるまちづくりの推進							
地区への愛着度 (住んでいる地区に愛着を感じている市民の割合(各区ごと))	1.2	地区への愛着を測ることで、魅力あるまちづくりが図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答をした区民が、各区それぞれ毎年 %増加することを目標として設定しました。

成果指標指標一覧表

名称	取組の方向との関係	成果指標の説明	データの出典	基準値	中間目標	最終目標	目標設定の考え方
施策44 効率的な行政サービスの提供							
収入未済額の削減率	1	収入未済額の削減率を測ることで、一層の歳入の確保がなされ、持続可能な財政運営が図られているかを見る指標	独自調査			減少	市税などの収納未済となっている額を〇%削減することを目標として設定しました。
住民票の写しなどをコンビニで交付した件数	2.3	コンビニでの証明書の発行件数を測ることで、効率的な行政サービスが図られているかを見る指標	独自調査			増加	住民票の写しなどの証明書をコンビニで交付を受けた件数を毎年〇件増加することを目標に設定しました。
行政サービスの利便性満足度 (必要な行政サービスを、身近で受けることができると感じている市民の割合)	2	行政サービスの利便性が向上しているかを見る指標	市民アンケート			維持	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答した市民の割合を維持することを目標に設定しました。
情報通信技術の活用による事務作業時間の削減率	1.3	情報通信技術の活用することにより、業務の最適化が図られているかを見る指標	独自調査			増加	AIやRPAなどの情報通信技術を活用した事務作業時間の削減率を毎年増加することを目標として設定しました。
施策45 市民と行政のコミュニケーションの充実							
市の広聴体制に対する満足度 (市政に意見を言える機会が備わっていると思う市民の割合)	1	市の広聴体制の充実が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「十分である」「どちらかといえば十分」「ふつう」と回答する人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
市の情報発信に対する満足度 (市から必要な情報提供を得られて満足している市民の割合)	2	市民のニーズに合った情報を発信できているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答する人が毎年〇%増加することを目標として設定しました。
施策46 公共施設マネジメントによる適正な施設配置							
公共施設のマネジメント満足度 (市内の公共施設などの維持管理や有効活用が適切にされていると感じている市民の割合)	1.2.3	市内の公共施設などのマネジメントが適切に図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「されている」と回答する人が毎年増加することを目標として設定しました。
施策47 戦略的なシティプロモーション							
相模原市の認知度(市外に住む20代~30代)	1	ターゲットである市外に住む20代~30代に対して効果的に情報発信ができていくかを見る指標	独自調査			増加	東京・神奈川のエリアで20代~30代の人を対象に実施する調査において、本市のことを「よく知っている」「知っている」「少し知っている」と回答した方の割合が増加することを目標として設定しました。
市への愛着度 (住んでいる地区に愛着を感じている市民の割合)	1	市民に対して市の魅力を発信し、愛着の醸成が図られているかを見る指標	市民アンケート			増加	市民アンケート調査において、「そう思う」と回答をした市民が、毎年 %増加することを目標として設定しました。